

令和7年度山形県環境審議会 第3回環境計画管理部会 議事録

1 日 時

令和8年3月17日（火） 午後1時30分～午後2時28分

2 場 所

あこや会館 ホール（オンライン会議併用）

3 出席者等（敬称略）

(1) 出席委員及び特別委員

井上 洋輔 今村 哲史 國方 敬司 色摩 慶子 内藤いづみ
堀川 敬子 三浦 秀一 佐々木 剛（東北経済産業局長代理）
藤田 宏志（東北地方環境事務所長代理）

(2) 欠席委員

阿部 達雄 工藤 美乃 鈴木 雅史 本間 佳子

(3) 県・事務局

環境エネルギー部長	沖本 佳祐
環境エネルギー部次長	高嶋 智弘
環境科学研究センター所長	笹渕 健市
環境エネルギー部環境企画課長	土屋 昭子
エネルギー政策推進課長	粕谷 伸幸
水大気環境課長	後藤 忠史
循環型社会推進課長	安孫子恵子
循環型社会推進課廃棄物対策主幹	原田 泰浩
みどり自然課長	木内 真一
みどり自然課みどり県民活動推進主幹	山寄 優

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 挨 拶

環境エネルギー 一部長	本日は年度末のお忙しいところ、環境審議会 第3回環境計画管理部会に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、本県の環境行政全般につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。 さて、本日の議題であります「第4次山形県環境計画」及び「第3次山形県循環型社会形成推進計画」の中間見直しにつきましては、昨年6月に知事から本審議会に諮問申し上げます。 本県においては、令和3年の計画策定以降の各種取組みの進捗状況や、循環経済への移行などの社会経済情勢の変化を踏まえ、また、県民一人ひとりのウェルビーイングの実現に向けて、より実効性の高い施策を推進す
----------------	--

	るため、両計画の見直しについて検討を進めてまいりました。 委員の皆様には、この１年間、２回の部会等において、専門的知見に基づく貴重な御審議を賜り、深く感謝申し上げます。 本日は、委員の皆様から頂戴いたしました御意見に加え、去る２月１２日から３月４日にかけて実施したパブリック・コメントの結果などを反映し、答申書案としてとりまとめた内容を御提案申し上げます。 よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。
--	--

(3) 議事録署名人の指名について

國方部会長	山形県環境審議会運営規則第７条の規定により、「審議会の会議については、議事録を作成し、議長及び議長の指名した委員２名が署名する」とされております。つきましては、私以外の議事録署名人として、内藤いづみ委員及び三浦秀一委員を指名します。
-------	---

(4) 議 事

① 第４次山形県環境計画及び第３次山形県循環型社会形成推進計画の中間見直しについて

國方部会長	続きまして、次第の「４ 議事」に移ります。 本日は、「第４次山形県環境計画の中間見直し」及び「第３次山形県循環型社会推進計画の中間見直し」に対する答申につきまして協議いたします。両計画の答申案につきまして、続けて事務局から説明していただいたあと、委員の皆様から御発言をいただくこととしたいと思います。 それでは、はじめに「第４次山形県環境計画の中間見直しについて」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料１、２及び３により説明)
國方部会長	ありがとうございました。 続きまして、「第３次山形県循環型社会形成推進計画の中間見直しについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料４、５及び６により説明)
國方部会長	ありがとうございました。 ただいま事務局から説明がありましたが、県の今後の取組みに期待することや、取組みを進める上でのアドバイスなどがあれば、御発言をお願いいたします。 私から委員の皆様を順番に指名させていただきます。それでは、井上委員お願いいたします。
井上委員	我々からもパブリックコメントで意見を出させていただき、資料５の番号

	7のとおり回答いただいております。回答の中で、「規制」という文言が一般的に使用されている言葉であることから、使用を継続すると記載されておりますが、環境省としては廃棄物の規制強化から循環資源の活用へと考え方を移行している流れのなかで、多少ずれがあるのではないかと感じました。一意見として受け止めていただければと思います。
國方部会長	今村委員、お願いいたします。
今村委員	計画については、これまでの意見等に丁寧に対応していただき、内容としては十分だと感じています。 その上で、今後の運用面について二点お願いがあります。一つ目は、家庭系ごみの排出量などについて、説明の際に「一人一日」といった指標を前面に出してもらえると、県民に伝わりやすくなり、一人一人の行動を促す説明ができるのではないかとという点です。二つ目は、学校との連携として、県の教育委員会等をぜひ関係者として取り入れ、先生方がこうした計画に触れる機会を作ってほしいと思います。
國方部会長	色摩委員お願いいたします。
色摩委員	計画については、全体としてはいいものができたと思っています。ただ、これを本当に県民の方が読んでくれるのか、実行に移せるのかが一番の課題であると感じています。 県民や他自治体、NPOなどに何度も繰り返して働きかけ、県が旗振り役になって進めていくことが重要だと思っています。
國方部会長	ありがとうございます。それでは、内藤委員お願いいたします。
内藤委員	全体としては、課題をしっかりと反映し、内容も充実していて丁寧に書かれたよい計画だと感じています。 環境計画については、以前発言した内容が反映され、説明や脚注が分かりやすくなっていました。一方で、脚注やページ番号などにいくつか誤りがあり、また後半のコラムには更新されていないものも見受けられました。コラムは、県民にとって読みやすく、関心を持ちやすい部分なので、今後の策定や見直しの際には、内容の充実や情報のアップデートを検討していただきたいと思います。 循環型社会形成推進計画については、現段階ですでに達成している数値目標があり、こうした項目についてはより高い目標を設定し、県の熱意を示してもらおうと、より事業者や県民の方が同じ方向を向くのかなと感じました。
國方部会長	ありがとうございます。それでは堀川委員お願いいたします。

堀川委員	第2回の会議後に、各委員の意見や質問を照会する今回の進め方はとてもよかったと思います。会議の時間内ですべての委員の回答を求めるのは難しいので、今後もこの方法を続けてほしいと思います。 一方で、計画については、やはり資料の分量が多く、県民の理解を得るのは大変だと感じましたので、ポイントを絞ったコンパクト版を別に用意するなど、DXやAIを活用しながらわかりやすく整理していくことに取り組まれてはどうかと思います。 また、教育面では、探究型学習が進んでいる現代の高校生に合わせて、学校と連携して、環境問題をテーマにした調べ学習や夏休みの研究などにつなげていくことが重要だと感じています。
國方部会長	ありがとうございます。それでは、三浦委員、お願いいたします。
三浦委員	今回の見直しについては、主に本文の修正が中心で、概要部分はあまり変わっていないように感じております。 また、温暖化やCO₂については、最近の国際情勢、例えばホルムズ海峡の問題などによるエネルギー安全保障の影響も踏まえて説明することが重要だと思います。CO₂の見える化だけでは人は動かず、エネルギー価格の高騰と結び付けてこそ、県民総ぐるみの行動につながると考えています。
國方部会長	ありがとうございます。それでは、東北経済産業局からお願いいたします。
東北経済産業局	資料6－1の概要、左下「情勢変化・国の動き等」の記載ですが、令和8年4月施行の改正資源有効利用促進法にも触れたほうがよいと思います。この法律では、自動車や家電、容器包装などで再生プラスチックの使用が求められるため、情勢の変化として重要なポイントになります。ぜひその点も記載する方向で御検討いただければと思います。
國方部会長	それでは、東北地方環境事務所の方からお願いいたします。
東北地方環境事務所	計画については、特にございませんが、一点情報提供がございました。先日、「環境省設置法の一部を改正する法律案」が閣議決定されました。国会で認められれば、地方環境事務所の名称が「地方環境局」に改められ、体制の強化、具体的には災害廃棄物処理対策に係る地方公共団体支援機能の強化、クマ対策を含む広域的野生鳥獣保護管理・外来生物対策等の体制強化支援の強化が図られます。引き続き県と連携して、環境行政を進めていければと考えております。
國方部会長	委員の皆様からほかに御発言等はございませんでしょうか。

	〈発言なし〉 ほかに御発言はないようですので、答申についてお諮りいたします。令和7年12月20日付けで諮問のありました、「第4次山形県環境計画」及び「第3次山形県循環型社会形成推進計画」の中間見直しについては、答申案のとおり策定することを適当と認め、本日、この旨を答申することに御異議ございませんか。 〈異議なし〉 御異議なしと認め、そのようにいたします。 以上を持ちまして、本日の議事を終了します。円滑な議事進行に御協力くださいまして、ありがとうございました。
--	--

— 議事終了 —

— 國方部会長から沖本環境エネルギー部長へ答申書を手交 —

(5) その他（特になし）

(6) 閉 会

議事録署名人 部会長 國 方 敬 司

委 員 内 藤 いづみ

委 員 三 浦 秀 一